



第15期 株主通信

平成26年4月1日～平成27年3月31日



「心の発電所」であるどうぶつたちが
より長く健康に暮らせるよう、
新たな取り組みを加速させます。

アニコム ホールディングス株式会社
代表取締役社長

小 森 伸 昭

2014年度（平成27年3月期）決算につきまして

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当社におきましては、2014年6月10日、当社株式の上場市場を東京証券取引所マザーズから東京証券取引所市場第一部へ市場変更いたしました。これもひとえに、みなさまのご支援、ご高配の賜物と心より感謝申し上げます。今後も、株主のみなさまのご期待に添えるよう、より一層の努力を重ねてまいりますので、ご支援・ご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

それでは、2014年度決算につきまして、ご報告いたします。マクロ的な外部環境として、わが国経済はデフレ脱却に向けた日銀による大幅な金融緩和実施をはじめとする政府・日銀の財政・金融・成長戦略等により、企業実績と雇用環境の改善が進むことで国内の消費マインド拡大へ期待が高まる一方、消費税率引き上げ等の影響により個人消費の回復は低調に推移し、未だ本格的な景気回復とは至らない状況です。一方、ミクロ的な外部環境を見ると、これまでの傾向からしても、ペット関連市場はマクロ経済環境の変化による影響は限定的な業界であると認識しております。ここ数年、生体の販売頭数は減少傾向にある一方で、ペット保険市場は引き続き市場を拡大しており、また、ペットに対する支出も年々増加しています。

続いて、2014年度において取り組みました当社グループの主要な3つの重点施策と業績についてご説明いたします。

1つ目の施策は、当社グループの中核事業であるペット保険事業における「損害率のコントロール」です。これまでに実施してきた、保険契約時の引受審査強化、保険金支払時の査定強化の施策に加え、2014年6月に保険料の改定を実施した効果等により損害率の改善が着実に進み、2014年度のE/I損害率は前年同期比で2.3ポイント改善し、64.4%となり、利益構造の改善効果が現れました。さらに、中長期的に損害率をコントロールする施策として、2014年11月に入通院限度日数付きの新商品の販売開始、鳥・うさぎ・フェレットの新規引受の停止（ペットショップにて新たにどうぶつを購入する場合のみ申込み可）、前年の保険利用状況によって翌年の保険料の割増引が適用される「健康割増引制度」を開始いたしました。

2つ目の施策は、ペット保険事業における「新規契約獲得基盤の強化」です。2014年10月に全国で8拠点目となる中四国支店を開設し、ペット保険募集の主力チャネルであるペットショップ代理店の新規取扱い店舗の拡大及び販売促進を一層強化いたしました。また、「継続契約の獲得力強化」にも注力し、上述の保険料改定等を経た後も、高水準の継続率の維持を達成いたしました。これらの結果、当年度末の保有契約数は544,815件（前年度末から39,846件の増加・同7.9%増）となりました。さらに、2015年2

月に、現在の通院・入院・手術を補償するペット保険の取り扱いに加え、補償範囲を入院・手術に限定するペット保険商品の認可を金融庁より取得し、販売開始に向けて準備を開始いたしました。今後もお客様の多様なニーズにお応えし、契約獲得力を強化してまいります。

3つ目の施策は、「新規事業へのリソース投入」です。前期に販売を開始した富士通株式会社とアニコム パフェ株式会社が共同で開発するクラウド型カルテ管理システム「アニレセF」において、新機能の追加及び販売強化に努め、多くの動物病院に導入いただきました。「アニレセF」を含める同社の動物病院向けカルテ管理システム導入病院は、2015年3月末現在で2,000病院を突破し、日本国内におけるトップシェアを維持しております。「アニレセF」においては、クラウド型であることを活かし、本院と分院でデータを共有できる機能や、iPad版の導入により院内のどこにいてもカルテの利用が可能になる機能等を追加し、臨床現場における声を製品開発に活かしております。今後も、さらなる機能追加や、動物病院以外での利用拡大を目指して、研究・開発を推進してまいります。また、当期から事業を開始した日本どうぶつ先進医療研究所株式会社においては、2014年8月に「JASMINE どうぶつ循環器病センター」（横浜市都筑区）を開設したことに伴い、順調に収益を計上しております。

これらの施策の結果、当社グループの連結業績は、保険引受収益21,733百万円（前連結会計年度比20.2%増）、資産運用収益522百万円（同381.9%増）などを合計した経常収益が、22,638百万円（同23.3%増）となりました。一方、保険引受費用15,920百万円（同18.4%増）、営業費及び一般管理費4,905百万円（同23.2%増）などを合計した経常費用は21,387百万円（同21.3%増）となりました。この結果、経常利益は1,250百万円（同70.7%増）、当期純利益は829百万円（同85.1%増）となり、創業以来最高の経常収益、経常利益、当期純利益を達成いたしました。

2015年度（平成28年3月期）に向けて

今年度も引き続き過去最高の経常収益、経常利益、当期純利益を見込んでおりますが、そのためにも以下3つの重点施策に注力いたします。

1つ目は「ペット保険の健全な成長」です。魅力ある保険として、契約者への還元と適正な保険制度運営を両立させるべく、損害率は中長期的に55~60%の水準を目指し、そのための商品開発等を継続してまいります。また、市場の開拓にも継続して注力し、新規代理店の開拓や既存代理店との関係強化を図ります。

2つ目は「新規事業へのリソース投入」です。既に稼働しているクラウド型カルテ管理システム「アニレセF」で収集されるどうぶつに関するデータに基づき、どうぶつ健康な長寿化に資する新規事業を展開するべく、積極的にリソースを投入してまいります。

3つ目は「予防に向けた取り組み強化」です。「予防型保険会社」の実現に向け、人材と設備というソフト・ハード両面から体制強化を図り、1つでも多くの傷病を無くす取り組みを継続強化してまいります。

どうぶつが持つ人間への「心の発電力」を高めるために

現代社会において、わたしたち人間とともに暮らすどうぶつは「家族の一員」であることはもちろん、隣に寄り添うだけで心の豊かさをもたらし、明日への大きな活力を与えてくれる存在となっています。それはまさに、わたしたち人間にとって「心の発電所」といえる存在です。

当社グループでは、そのような家族であり心の発電所でもあるどうぶつがケガや病気をせず、長く健康に幸せに暮らせる社会を創り上げることは、わたしたち人間に長く活力を与え、社会の発展に貢献するものであると捉え、すべての命の幸せを追求してまいります。

そのためにも、トップランナーとして走り続けるペット保険事業を基盤として、どうぶつ飼育に適した環境整備を進め「ペットのインフラ会社」となることでどうぶつ増加と健康長寿化を達成し、有効需要の増加と経済の発展に貢献してまいります。

今後もペット保険事業の盤石な体制の形成及び新規事業の強化に向けて、グループ役職員一丸となって取り組んでまいりますので、引き続き株主のみなさまのご理解とご支援をよろしくお願い申し上げます。

連結財務諸表

連結貸借対照表

(単位：百万円)

科目	当年度末	前年度末
	平成27年3月31日現在	平成26年3月31日現在
資産の部		
現金及び預貯金	4,217	4,454
有価証券	15,108	11,367
有形固定資産	250	118
無形固定資産	566	477
その他資産	1,945	2,112
繰延税金資産	263	116
貸倒引当金	△ 13	△ 13
資産の部合計	22,337	18,634
負債の部		
保険契約準備金	10,528	8,768
その他負債	2,411	1,520
賞与引当金	103	86
特別法上の準備金	22	10
負債の部合計	13,066	10,385
純資産の部		
資本金	4,350	4,282
資本剰余金	4,240	4,172
利益剰余金	681	△ 147
自己株式	△ 0	△ 0
株主資本合計	9,272	8,306
その他の包括利益累計額	△ 1	△ 57
その他有価証券評価差額金	△ 1	△ 57
純資産の部合計	9,270	8,248
負債及び純資産の部合計	22,337	18,634

連結損益計算書

(単位：百万円)

科目	当年度	前年度
	平成26年4月1日から平成27年3月31日まで	平成25年4月1日から平成26年3月31日まで
経常収益	22,638	18,366
経常費用	21,387	17,633
経常利益	1,250	733
特別損失	18	8
税金等調整前当期純利益	1,232	724
法人税及び住民税等	576	142
法人税等調整額	△ 172	134
法人税等合計	403	276
少数株主損益調整前当期純利益	829	447
当期純利益	829	447

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科目	当年度	前年度
	平成26年4月1日から平成27年3月31日まで	平成25年4月1日から平成26年3月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,094	2,009
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 2,963	△ 2,052
財務活動によるキャッシュ・フロー	135	60
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	265	17
現金及び現金同等物の期首残高	1,301	1,283
現金及び現金同等物の期末残高	1,567	1,301

連結株主資本等変動計算書

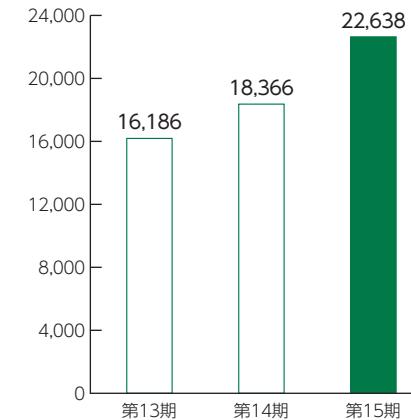
(当年度 平成26年4月1日から平成27年3月31日まで)

(単位：百万円)

	株主資本					その他の包括利益累計額		純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	その他の包括利益累計額合計	
平成26年4月1日残高	4,282	4,172	△ 147	△ 0	8,306	△ 57	△ 57	8,248
連結会計年度中の変動額								
新株の発行	68	68			136			136
当期純利益			829		829			829
株主資本以外の項目の連結会計年度中の変動額(純額)					—	56	56	56
連結会計年度中の変動額合計	68	68	829	—	966	56	56	1,022
平成27年3月31日残高	4,350	4,240	681	△ 0	9,272	△ 1	△ 1	9,270

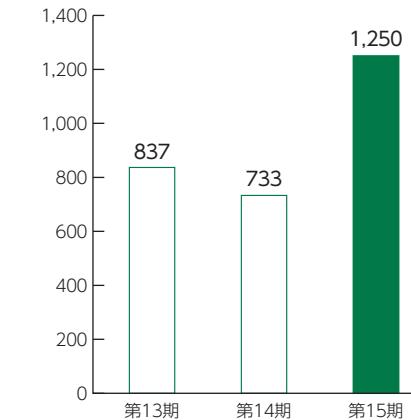
経常収益

(単位：百万円)



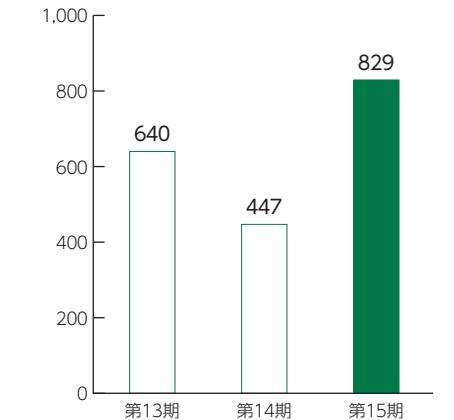
経常利益

(単位：百万円)



当期純利益

(単位：百万円)



東京証券取引所市場第一部へ市場変更



2014年6月10日、当社株式の上場市場を東京証券取引所マザーズから東京証券取引所市場第一部へ市場変更いたしました。2000年に創業して以来、ペット保険という新しいマーケットの創造と、予防型保険会社という新たな価値の提供に挑戦してまいりました。当グループがここまで成長できたのも、これまでお力添えいただいた多くのみなさまの温かいご支援とご指導の賜物と、心より感謝いたします。今後も上場企業としての社会的責任をさらに自覚し、みなさま方のご期待に応えるべく挑戦し続けてまいります。

予防への取り組みと論文の発表



アニコムグループは、膨大な獣医療データと社内の経験豊富な獣医師により、予防のための研究・論文執筆に積極的に取り組んでおります。これまでの実績の一例として、犬の異物誤飲事故に際して、飲み込んだものを出すために嘔吐を誘発させる薬剤としてトラネキサム酸が多く使用されていることが判明しましたが、本来止血剤として認証されたトラネキサム酸の副作用として嘔吐が誘発されることを利用したものであり、催吐薬としての有効性と安全性についての科学的根拠は存在しませんでした。そこで、この問題を解決するため麻布大学と当グループで共同研究を行い、そのメカニズムを解明し論文を発表したところ、世界的な論文誌2誌に掲載されました。

小動物医療は未だ発展途上であるため、これからもアニコムグループの様々な強みを活かして研究を重ね、有益な情報を提供するとともに予防の実現を進めてまいります。

- ※ ■ **European Journal of Pharmacology**
Tranexamic acid induces kaolin intake stimulating a pathway involving tachykinin neurokinin 1 receptors in rats; Hitoshi Kakiuchi, Asako Kawarai-Shimamura, Mariko Kuwagata, Kensuke Orito. Eur J Pharmacol. 2014 Jan 15;723:1-6.
- **American Journal of Veterinary Research**
Efficacy and safety of tranexamic acid as an emetic in dogs; Hitoshi Kakiuchi; Asako Kawarai-Shimamura; Yoko Fujii; Takuma Aoki; Masaki Yoshiike; Hayato Arai; Atsushi Nakamura; Kensuke Orito. Am J Vet Res. 2014 Dec;75(12):1099-103.

「ペット長寿国プロジェクト」発足



アニコム損害保険株式会社は、2014年9月、ワンちゃん、ネコちゃんが健康で長生きするために必要な正しい知識、情報を「食事」「運動」「定期予防」の観点から提供し、日本を世界一のペット長寿国にすることを目指す「ペット長寿国プロジェクト」を、ペットフードメーカー等と共同で立ち上げました。同プロジェクトでアニコムは、保険金支払データを基にした統計の公表をはじめ、学術的な面から飼い主の啓発を行うことで、プロジェクトに貢献いたします。

中四国支店を開設



アニコム損害保険株式会社における新たな活動拠点として、2014年10月に中四国支店（岡山県岡山市）を開設いたしました。これにより営業拠点は、東京本社その他、札幌、仙台、名古屋、大阪、岡山、福岡の6拠点と、保険金支払業務を行う高知オフィスの合計8拠点となりました。中四国支店でも他の拠点と同様、地域に密着した営業活動を行い、ペット保険のさらなる普及拡大を目指すとともに、コールセンターを設置することで、お客様へのサービスの向上を図ってまいります。

新商品「どうぶつ健保はっぴい」販売開始



2015年2月より鳥・うさぎ・フェレットを対象とした「どうぶつ健保はっぴい」の販売を開始いたしました。こちらの商品は、ペットショップにて新たにどうぶつを購入する場合のみ、お申込みいただけます。また、お迎えした時点より補償が開始されるため、病気やケガのリスクが高い幼児期にも安心です。アニコム損害保険株式会社は開業以降、

犬・猫においては上記と類似した商品「どうぶつ健保べいべい」「どうぶつ健保すまいる」を販売しておりますが、今回種別を拡大するとともに、鳥・うさぎ・フェレットは、引受年齢も1歳11ヶ月までへ拡大しております。今後も、多くのお客様のご期待にお応えすべく、商品・サービスのさらなる改善、新たな価値の創造に努めてまいります。

当社ホームページでは、株主投資家のみなさまに向けた企業情報・財務情報をはじめ、当社グループのCSR活動や経営パラメーター、広報・IRブログなどをご覧いただけます。

当社グループをさらにご理解いただくためのツールとしてぜひご活用ください。



IR情報では、財務ハイライトやIRライブラリ等をご紹介します。

また、「IR情報」トップページには半期毎に社長インタビューを掲載し、株主・投資家のみなさまへ「わかりやすいIR情報」をお伝えしてまいります。

<http://www.anicom.co.jp/>

株主のみなさまの声をお聞かせください

当社では、株主のみなさまの声をお聞かせいただくため、アンケートを実施いたします。お手数ではございますが、アンケートへのご協力をお願いいたします。

下記URLにアクセスいただき、アクセスコード入力後に表示されるアンケートサイトにてご回答ください。所要時間は5分程度です。

<http://www.e-kabunushi.com>
アクセスコード 8715

いいかぶ

空メールによりURL自動返信
kabu@wjim.jpへ空メールを送信してください。(タイトル、本文は無記入) アンケート回答用のURLが直ちに自動返信されます。

●アンケート実施期間は、本書がお手元に到着してから約2ヶ月間です。

※本アンケートは、株式会社 a2media(イー・ツー・メディア)の提供する「e-株主リサーチ」サービスにより実施いたします。(株式会社 a2media)についての詳細 <http://www.a2media.co.jp/> ※ご回答内容は統計資料としてのみ使用させていただきます。事前の承諾なしにこれ以外の目的に使用することはありません。

●アンケートのお問い合わせ TEL:03-5777-3900(平日 10:00~17:30) MAIL:info@e-kabunushi.com
「e-株主リサーチ事務局」

株式の状況／会社概要

株式および株主の状況 (2015年3月31日現在)

発行可能株式総数	48,000,000株
発行済株式の総数	17,842,400株
当期末の株主数	2,434名

大株主の状況

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本トステイサービス信託銀行株式会社(信託口)	2,332	13.1
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,295	7.3
KOMORIアセットマネジメント株式会社	1,220	6.8
ソニー損害保険株式会社	1,200	6.7
野村信託銀行株式会社(投信口)	1,012	5.7
C B C 株 式 会 社	666	3.7
小 森 伸 昭	503	2.8
吉 岡 裕 之	380	2.1
JP MORGAN CHASE BANK 380646	294	1.7
資産管理サービス信託銀行株式会社(証券投資信託口)	281	1.6

(注) 持株比率は、自己株式(610株)を控除して計算しております。

会社概要 (2015年3月31日現在)

社 名	アニコム ホールディングス株式会社
設 立	2000年7月5日
資 本 金	4,350百万円
本 社	〒161-0033 東京都新宿区下落合一丁目5番22号

役員の状況 (2015年6月24日現在)

代表取締役社長	小 森 伸 昭
常務取締役	百 瀬 由 美 子
取締役	須 田 一 夫
取締役	石 橋 徹
取締役(社外)	小 林 英 三
取締役(社外)	川 西 良 治
常勤監査役(社外)	猪 俣 吉 彦
監査役(社外)	岩 本 康 一 郎
監査役(社外)	岡 部 紳 一
監査役(社外)	須 田 邦 之

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月開催
株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同 連 絡 先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 TEL 0120-232-711 (通話料無料)

公告方法	電子公告にて行う 公告掲載URL http://www.anicom.co.jp/ ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。
------	---